

議員提出議案第21号

ばらまき政策を排し財政の健全化を求める意見書

上記の議案を提出する。

平成22年 6月23日

提出者

1 番	むらまつ 勝康	2 番	平田 みつよし
5 番	秋 本 とよえ	6 番	筒 井 孝 尚
7 番	小 山 たつや	8 番	向 江 すみえ
9 番	上 村 やす子	13 番	出口 よしゆき
14 番	黒柳 じょうじ	15 番	上 原 ゆみえ
16 番	安 西 俊 一	17 番	秋 家 聡 明
20 番	うめだ 信 利	21 番	大 高 た く
22 番	清 水 忠	23 番	工 藤 きくじ
24 番	池田 ひさよし	26 番	梅 沢 五十六
27 番	小 用 進	28 番	ふ せ 秀 明
29 番	丸 山 銀 一	30 番	斉 藤 初 夫
33 番	荒 井 彰 一	34 番	牛 山 正
35 番	く ぼ 洋 子	36 番	倉 沢 よう次
37 番	舟 坂 ちかお	40 番	新 村 秀 男

葛飾区議会議長 舟 坂 ちかお 殿

ばらまき政策を排し財政の健全化を求める意見書

わが国の財政は世界的な景気後退の中で税収が大きく減少し、国と地方を合わせた長期債務残高が今年度末に862兆円に達するなど、危機的な状況にある。

平成22年度予算で歳出が膨らんだ要因が、民主党の無茶なマニフェストにあることは明らかである。子ども手当に象徴される理念なきばらまき政策は、国民の財政に対する不信任や将来に対する不安感を増幅しており、歳出と歳入を一体的に改革し、財源の裏づけのある社会保障制度を確立することが急務である。

よって、本区議会は国会及び政府に対し、理念なきばらまき政策を見直すとともに、財

政を健全化するため、以下の施策を推進することを強く求めるものである。

記

- 1 年金、医療、介護などの社会保障制度をさらに充実させるため、経済状況の好転と税金の無駄遣いの撲滅を前提に、消費税を含む税制の抜本的改革を行うこと
 - 2 健全財政の維持を内閣の責任とする「財政責任法」を法制化し、「恒久政策には恒久財源」との原則を確立すること
 - 3 ばらまきにつながる子ども手当を全面的に見直し、保育所の整備・拡充や幼児教育無償化など、子育て家庭が真に必要とするサービスを実施すること
- 以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。